

富山大学日本文学研究

第6号

星新一文学におけるコミュニケーションの諸相 須貝航太... 1

杉みき子『小さな町の風景』における「風景」 黒田苑... 17

小川洋子『最果てアーケード』の構造 西田谷洋... 31

2019年7月

富山大学人間発達科学部日本文学会

富山大学人間発達科学部日本文学学会会則

編集後記

第一条 この会は富山大学人間発達科学部日本文学学会と称し、

事務局を富山大学人間発達科学部日本文学研究室（富山

県富山市五福三一九〇）に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、日本文学研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的の達成のために次の事業を行う。

- 1 研究発表会、公開講演会などの開催。

- 2 機関誌などの刊行

- 3 その他、会の目的の達成に必要と認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学人間発達科学

部日本文学分野の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもつて会員とする。この他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもつて会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員及び維持会員で組織する。

富山大学日本文学研究（第六号）

一〇一九年七月一〇日 印刷

一〇一九年七月三一日 発行

編集兼発行者

富山大学人間発達科学部日本文学学会

発行所

九三〇一八五五五 富山市五福三一九〇
富山大学人間発達科学部西田谷洋研究室

〇七六一四四五一六三〇八

印刷所 五〇一一二五一七

岐阜市三輪ぶりんとびあ3
株式会社 コームラ
〇五八一二二九一五八五八

『富山大学日本文学研究』第六号をお届けする。
原則年一回刊行態勢になった本号には三本の論考を掲載した。うち一本は卒論の一部を改稿したものである。ご批正・ご指導を賜れば幸いである。

なお、臨時のプロジェクトに応じて臨時増刊的な媒体を用意する予定である。今後、精進していきたい。